

文化・芸術



「絶唱・横須賀ストーリー」展示風景

1977年、ゼラチンシルバー・プリント
45・5枚×55・7枚
作家蔵（展示風景撮影＝木暮伸也）

石内 都（1947年）

《名画の扉》

企画展「石内都
STEP THROUGH TIME」から

「絶唱、横須賀ストーリー」は、石内都のデビュー作です。1977年4月26日から5月1日に銀座ニコンサロで開催された初個展において約180点のプリントが発表されました。基地の街・横須賀に青春期を過ごした作家の、この場所へのわだかまりや傷が創作へとつながったシリーズといわれてきました。その感情はモノクロームの陰影に昇華し、石内は横須賀の風景と向き合う時間を過ごしています。

「本展では、作家の元で保管されてきた38枚のビンテージプリントを、初個展時と同様、自身の展示構成によりピンナップしています。当時ニコンサロンの壁面は、黒い布張りがなされており、当初これらの作品群は裏面を強力なテープで固定し展示したといえます。今回はテープ痕もありません。そのまま展示を試みています。時代を超えて息づく生々しい時間の堆積を体感します。

（小此木）